

# 平成25年度第3回南相馬市事務事業事前評価結果

1	事務事業名	鹿島体育館整備事業	担当課	市民生活部文化スポーツ課
---	-------	-----------	-----	--------------

事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか 子ども及び子育て世帯を中心とした住民
	意図	対象がどのようになることがねらいなのか 鹿島区内に体育館を整備することで、子ども及び子育て世帯を中心とした住民が安心してスポーツ活動できるようになる。
	結果	どのような結果をもたらすのか 鹿島体育館の整備により、子ども及び子育て世帯を中心とした住民の運動不足の解消や健康増進が図られる。

手 段	・鹿島体育館建設工事（RC造2階建 1,270㎡、体育主室面積1,026㎡） バドミントンコート6面、バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面、ステージ、器具庫	事業費（千円）	平成25年度	18,825
			平成26年度	356,850
			平成27年度	0
			平成28年度	0
			平成29年度	0
			合 計	375,675

担当課による自己評価	必要性	市民ニーズはあるか スポーツ施設の整備について、鹿島区のスポーツクラブの登録団体を対象にアンケートを実施した結果、「鹿島体育館跡地」に整備するが大半を占めた。さらには、鹿島区地域協議会から運動施設の早急な整備・拡充が求められている。また、復興に関する市民意向調査から「子どもたちの教育環境の改善・充実」、特に「屋内運動場の整備や、公園・プールなどの屋外活動の制約を伴う施設整備」を望む割合が35%と高いため、積極的に運動施設の整備を図る必要がある。
	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか 総合計画の中で、スポーツ機会の拡充、スポーツ施設の整備、スポーツ・レクリエーションの推進を図ることとして位置付けられている。
	有効性	成果の期待度 どのような効果が期待されるか 鹿島体育館を整備することで、子ども及び子育て世帯を中心とした住民の運動不足の解消や健康増進が図られる。
	その他	優先性等 屋外で運動する機会の減少と運動施設が逼迫している現状から、安心して運動ができる場所と機会を提供することが必要であり、優先性、緊急性があるものとする。
	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。

委員会評価	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。 ただし、付帯意見に留意して事業を進めることとする。
	付帯意見	・スポーツ振興に係る市の全体計画を整備すること。 ・今後見込まれる人口減少を見据えて、他の公共施設も含め、スポーツ施設の統廃合を視野に入れること。

対応方針	議会における予算成立後、計画に沿って事業を実施する。 (平成25年8月議会に予算計上し、承認された。)
------	--